

## 発注者支援業務の概要について（案）

### 1. 目的

新国立競技場のシステム関連整備の検討においては、「新国立競技場のシステム関連整備に係る方針」を踏まえつつ、新国立競技場が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「2020年東京大会」という。）開催後に必要となる設備や機器等の性能や数量等の具体的な仕様を定め、システム構築事業者を決定できるよう支援を行う。その後2020年東京大会の開催に支障をきたさないよう、システム構築事業者の進捗管理を行う。

### 2. 業務内容

- (ア) 業務を円滑に遂行するための工程管理
- (イ) 必要となる設備や機器等の性能や数量等の具体的な仕様策定
- (ウ) 個別システムの調達計画書（案）の策定
- (エ) システム構築事業者選定支援
- (オ) その他

### 3. 受託事業者選定の考え方

新国立競技場は、2020年東京大会のメインスタジアムとして社会的な注目度が高く、多角的な視点からの検討が求められる。

また、システム構築事業者に適切な業務体制や綿密な業務実施スケジュールでの構築を求める必要があることから、発注者支援に豊富な実績や知見等のある受託事業者であることが望ましい。

入札に当たっては競争性・公正性を担保すべく一般競争入札とし、価格のみの競争である最低価格落札方式ではなく、技術点及び価格点を評価する総合評価落札方式を採用する。

### 4. 期間

平成29年1月頃～平成32年3月頃  
（発注は分割する可能性がある）